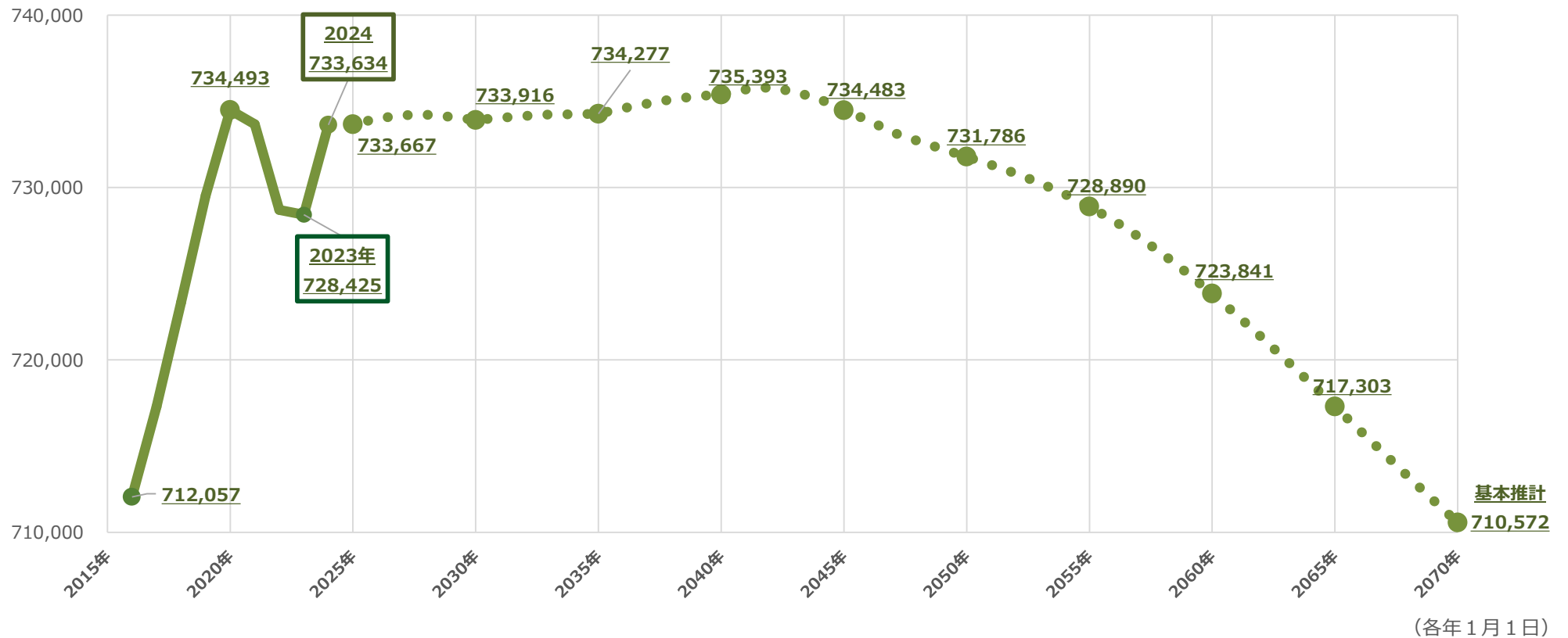


大田区将来人口推計について【総人口】

令和元年（2019年）には73万人に達したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と思われる転出超過が続いたことから、令和2年（2020年）をピークに2023年まで人口減少が続いたのち、再び増加傾向に転じた。令和22年（2040年）頃まで緩やかに人口が増加した後減少に転じ、令和52年（2070年）に71.1万人となる見込みである。

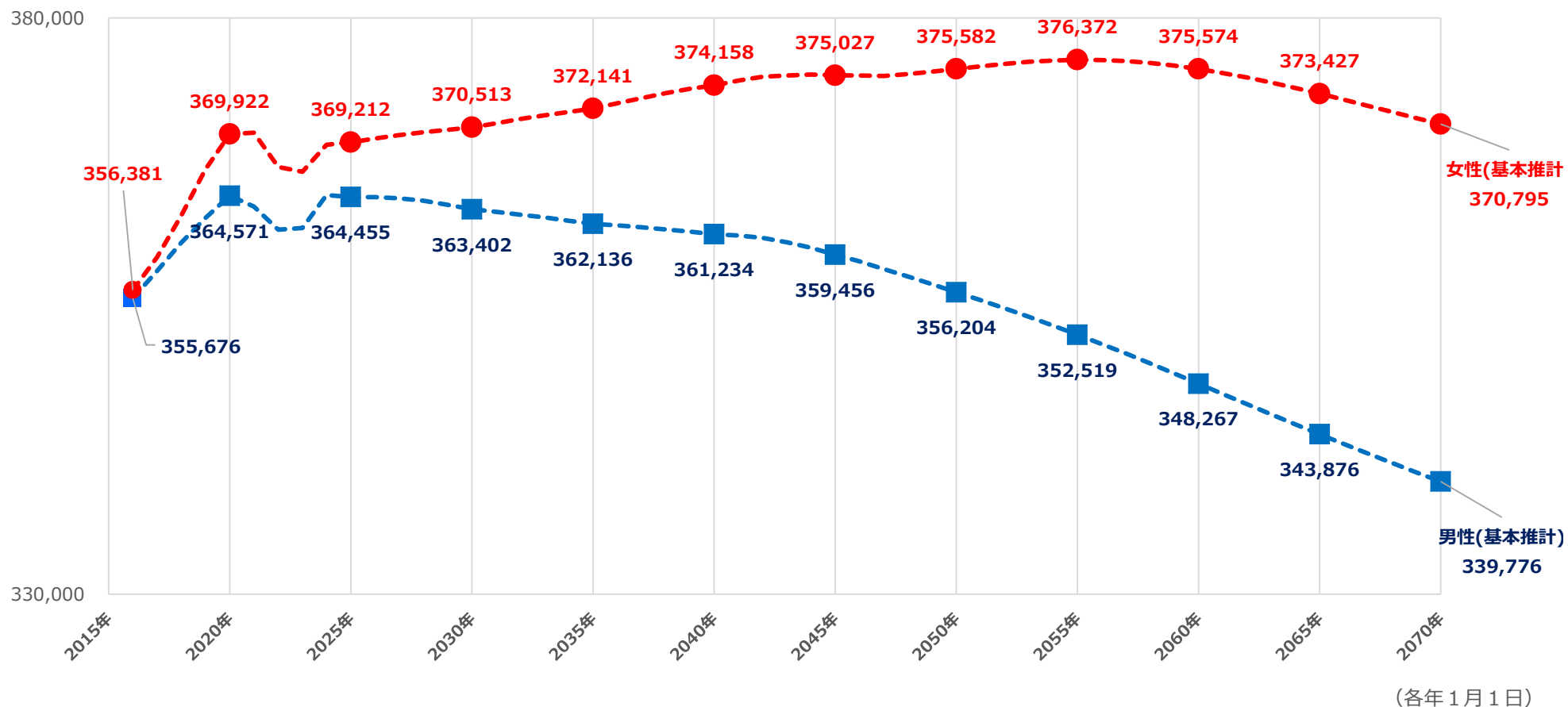
■ 総人口 (人)



※端数の計算により、別紙2、別紙3における合計数と合致しない場合がある

大田区将来人口推計について【男女別】

平成27年（2015年）時点ではやや女性人口が上回っているものの、ほぼ均衡している状態であったが、その後その差は拡大している。推計では、将来的にも女性人口が男性人口を上回る形で推移し、その差は更に拡大していくと見込まれる。



大田区将来人口推計について【年齢3区分】

団塊ジュニアが高齢者となる令和17年（2035年）頃からは高齢化率のペースが加速し、令和27年（2045年）には25%を超え、令和52年（2070年）まで25%台で推移する見込み。生産年齢人口（15～64歳）は、徐々に減少していくことが見込まれている。年少人口（14歳以下）の割合については、令和7年（2025年）の10%台から令和12年（2030年）にかけて9%台になり、令和22年（2040年）から令和37年（2055年）にかけて微増するも、長期的には概ね横ばいで推移する。

